

1 題材名 「いろいろなひびきを味わおう」

教材名 「リボンのおどり (ラバンバ)」

「双頭の鷺の旗の下に」「アイネ クライネ ナハトムジーク」(鑑賞)

2 題材について

A 表現 (2)

イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。

ウ 楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること。

B 鑑賞

イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。

[共通事項] ア (ア) 音色、リズム、速度、強弱、音の重なりや和声の響き、調
(イ) 反復、変化、音楽の縦と横の関係

(1) 題材観

本題材は、いろいろな楽器の音が重なり合う響きを味わったり、より美しい響きを求めて演奏の仕方や組み合わせを工夫したりすることを主なねらいとする。児童は3年生で金管楽器、4年生では木管楽器とそれぞれの楽器の音色や響きの違いなどを学習してきた。また、地域のコンサートや卒業式などの行事のなかで合奏をし音を合わせる楽しさや、響きの美しさを経験してきている。そこで、本題材では楽器の特徴を生かした音の組み合わせや音が重なり合う響きを感じ取ったり、鑑賞教材で聴き取ったことを生かして、美しい響きや自分のイメージを求めて演奏の仕方を工夫したりする活動を中心に学習をすすめていく。このような学習によって、自分の思いや意図を表現するために必要な、音楽を形づくっている要素を手がかりにして、自分たちの音楽を表現していくことができると考える。

(2) 児童の実態 (男子12名、女子16名、計28名)

1 音楽の学習のどんな活動が好きですか。(複数回答)
・歌うこと (11) ・リコーダー (12) ・合奏 (12) ・音楽を聴くこと (10)
2 合奏の楽しいところはどんなところですか。
・いろいろな楽器が重なり合ってきれいな響きになるところ (17) ・みんなの音や気持ちがひとつになるところ (8) ・やりとげた達成感が味わえる (2) ・いろんな意見を出し合ってできあがる場所 (1)
3 合奏のむずかしいところはどんなところですか。
・みんなのリズムやタイミングを合わせるところ (13) ・気持ちをひとつにする場所 (8) ・音符を読むこと (5) ・まちがえたりするとどこを演奏しているか解らなくなる (2)

4 今まで演奏したことのある楽器はなんですか。(複数回答)

- ・リコーダー (全員)・鍵盤ハーモニカ (全員)・ピアノ (19) 電子オルガン (12)・オルガン (14)
- ・鉄琴 (13)・木琴 (14)・バイオリン (3)・ギター (3)・タンブリン (22)・ウッドブロック (8)
- ・トライアングル (19)・カスタネット (26)・クラベス (2)・小太鼓 (6)・大太鼓 (6)
- ・トランペット (3)・クラリネット (3)

5 「リボンのおどり」の演奏(範奏CD)を聴いて、主旋律が演奏されている回に○をつけましょう。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	終
		○	○	○	○			○	○			○	○			○	○	○	○	△

- ・正答 (9) ・誤答 (19) …うち全く回数も数えられないもの (5)

6 階名をかきましよう (リボンのおどり③④⑤パート)

- ・ト音記号③④パート 正答 (22) 誤答 (6)
- ・ヘ音記号⑤パート<未習> 正答 (9) 誤答 (19)

<考察>

活発で元気の良い男子が多い。昨年度、地域のコンサートで学年では合奏や合唱をし、充実感を味わって以後、音楽の学習に積極的に取り組むようになった。アンケートからも合奏や合唱で気持ちがひとつになることの難しさや、よさをあげている児童が多い。好きな活動の中にリコーダーを入れている児童が多いことからリコーダーの苦手意識もなくなってきたように思う。ピアノや木琴、鉄琴などの鍵盤楽器の経験者は半数以上いる。また、特設吹奏楽部で管楽器を演奏している児童もいるので楽器に対する興味、関心は高い。合奏の難しさのなかに、楽譜を読むことがあげられているが「リボンのおどり」は各パート4小節程度である。練習を重ねていけば、覚えて演奏できるのではないかと考える。ふしが重なっている範奏は、回数が聴き取れなかったり、主旋律と似た旋律にまどわされたりする児童も多いようだ。音の重なりが作り出す音楽の厚さや、和音と細かいリズムの縦の関係が作り出す響き、つまり音楽の縦と横の関係に着目して、自分の思いや意図を生かした楽しい4つの「リボンのおどり」が表現できるようにしていきたい。

(3) 指導観

第一次では鑑賞教材「双頭の鷲の旗の下に」と「アイネ クライネナハトムジーク」から楽器の違いによる音色の違いや、音色の違いから受けるイメージの違いに気付かせて聴かせる。また、「双頭の鷲の旗の下に」では、リズムの特徴、強弱の変化、繰り返しについて、また「アイネ クライネナハトムジーク」では、旋律とベース、調の変化などの音楽を形づくっている要素をのかかわり合いを感じ取らせたい。そして、このような鑑賞の学習を生かして、音楽を形づくっている要素に着目し、自分の思いや意図をもって表現する活動をさせたい。

第二次では「リボンのおどり」のグループ合奏を通して、自分たちのイメージが演奏に表れるにはどうしたらよいのか考えさせる。「リボンのおどり」はメキシコのベラクルス地方の民族舞踊で音楽に合わせてタップダンスをしながら、足でリボンを結ぶ踊りである。ペアの男女がうまくリボンを結べるとめでたく結婚

できるといういい伝えもある。このような楽曲の背景を紹介し、子どもたちの意欲を高め、グループごとにイメージに合った演奏を工夫させたい。また、鑑賞で音色、強弱、速度、リズム、変化、反復、音の重なり、音楽の縦と横の関係などが演奏にどのような効果を生み出すかを考えさせ、「リボンのおどり」がさらに自分たちの思いや意図を表す演奏になることを期待したい。

3 題材の目標

- ・楽器が重なり合ういろいろな響きの特徴や違いを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり曲想とその変化を感じ取って想像豊かに聴いたりする。
- ・楽器の組み合わせや強弱、速度、リズム、音楽の縦と横の関係などの様々な音楽を形づくっている要素に着目して、全体の響きやパートの組み合わせを工夫して旋律楽器や打楽器を演奏する。

4 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 ・演奏する楽器の特徴を生かして、旋律楽器や打楽器を演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、曲想を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについて自分の考えや願い、意図を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏する楽器の特徴を生かして、旋律楽器や打楽器を演奏している。 ・自分の思いや意図をもち、曲想を生かした表現で演奏している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造を理解して聴いている。

5 研究の視点について

【視点1】表現と鑑賞を関連させた題材構成

○鑑賞の学習でとらえた「音楽を形づくっている要素」を表現の学習で生かす

鑑賞教材「双頭の鷲の旗の下に」では、吹奏楽の堂々とした響きや、ファンファーレによって喚起される気分の高まり、繰り返しなどの「音楽を形づくっている要素」の働きが生み出すよさや面白さを感じ取る。また、「アイネクライネナハトムジーク」では、弦楽器のなめらかで優雅な響き、ユニゾンの一体感や主旋律と伴奏、低音の関係、また、転調による気分の変化などについて聴き取る。これらの学習でとらえた「音楽を形づくっている要素」に着目し、自分たちの思いや意図をもった「リボンのおどり」を表現させたい。グループで合奏をするときには、鑑賞の学習を振り返りながら、楽器の組み合わせや、パートの重なり方や繰り返し方、全体の構成、曲想の表現をどのようにするか、「音楽を形づくっている要素」を手掛かりに試したり、確かめたりしながら、表現の工夫をさせていくようにしたい。

【視点2】思いや意図をもって表現したり、聴いたりする力の育成

○自分の思いや意図を表現するテーマをもった「リボンのおどり」

「リボンのおどり」を演奏するとき、自分たちのグループの「テーマ」を設定し、楽曲の背景や自分たちの表したい内容を明確にする。そのテーマを表現するために、「このように演奏したい」という自分たちの考えを、「音楽を形づくっている要素」を手掛かりにしながら演奏の工夫をさせていきたい。このように「音楽を形づくっている要素」と自分たちのテーマのある演奏との関わりについて、実際に自分の担当するパートを表現しながら、友達と聴き合ったり、合わせて確かめ合ったりすることで、子どもたち一人一人の思考を深め、判断を促し、表現力を高めていきたい。また、子どもたち同士が「テーマ」に基づいてお互いの思いや意図を出し合ってグループのイメージを確認していく学習活動の中から、子どもたち同士が関わり合う協同的な取組も促進されていくと考える。

○演奏表（学習カードと掲示用）の活用

グループで学習活動するとき、自他のパートの関わり合いや繰り返し、重ね方、構成（はじまり方と終わり）など、いろいろなアイデアを出し合い、工夫しながら、自分たちのテーマのある「リボンのおどり」をつくりあげていく。そのときに、グループの演奏をまとめていくための「演奏表」を活用する。「演奏表」では、音楽の縦と横の関係が視覚的にとらえやすくなり、拡大した演奏表ではマグネットでパートの演奏部分が移動できるので、実際の音の重なりや構成を確認しながら、自分たちの思いや意図が表現につながっているかどうか試しながら合奏をつくりあげていくことができると思う。

6 題材の指導計画（6時間計画）

次	時	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準 〈評価方法〉
1次		ねらい 音楽を形づくっている要素のかかわり合いや曲想とその変化の特徴を感じ取って聴く	
	1	○「双頭の鷲の旗の下に」と「アイネクライネナハトムジーク」を聴き比べ音色と曲の構成の違いを感じ取る。 ・吹奏楽と弦楽合奏の響きの違いを感じ取る。 ・写真や映像から既習の楽器について確かめる。	・楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 〈ワークシート〉（関・意・態）
	2	○曲想の変化とそれを創り出している、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取る。 ・それぞれの曲をフレーズごとに区切って聴き、音楽の特徴について話し合う。	・演奏する楽器の特徴を生かして、旋律楽器や打楽器を演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 〈活動の観察〉（鑑賞）
2次		ねらい いろいろな楽器が重なり合う響きを感じながら思いや意図を持って演奏する	
	3	○「リボンのおどり」の曲を感じをつかんで演奏する ・それぞれのパートをリコーダーで演奏したり、歌ったりする。 ・リズムを加え、旋律の組み合わせを工夫し合奏する。 ・旋律の特徴を生かした楽器を考え、グループで分担する。	・演奏する楽器の特徴を生かして、旋律楽器や打楽器を演奏している。 〈行動観察〉（技）
	4	○音の重なりを工夫し楽しむ。 ・グループに分かれ、演奏回数ごとの楽器の組み合わせを工夫する。 ・楽器の特徴や、旋律の特徴を考えながら組み合わせを考える。 ・自分たちのグループの「リボンのおどり」についてテーマを考える。	・旋律やリズムの特徴を生かして、表情豊かに合奏している。 〈行動観察〉（技）
	5 （本時）	○重なり合う響きの変化を工夫し楽しむ。（本時） ・自分たちのテーマに合った「リボンのおどり」にするために、どのような演奏にするかを工夫し、パートの組み合わせや曲全体の構成を考えながら表現する。	・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、曲想を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについての自分の考えや願い、意図をもっている。 〈行動観察〉（創）
	6	○互いの演奏を聴き合い響きの変化を味わう。 ・グループごとに全体の響きや各パートの組み合わせなどを工夫して演奏し、お互いの表現のよさを味わう。	・自分の思いや意図をもち、曲想を生かした表現で演奏している。 〈活動の観察・ワークシート〉

7 本時の学習 (5/6)

(1) 本時の目標

楽器の重なり合う響きを感じ取り、パートの組み合わせを確かめながら、どのように演奏したらよいか、自分の思いや意図をもつ。

(2) 展開

学習内容と学習活動	○ 教師のかかわり
<p>1 今月の歌を歌う。</p> <p>2 前時までを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「リボンのおどり」の各パートをリコーダー等で演奏する。 <p>3 本時の学習の内容を確認し、めあてをもつ。</p>	<p>○ リズムを感じ取って明るく楽しく歌うようにする。</p>
<p>自分たちのテーマに合った「リボンのおどり」を工夫しよう</p>	
<p><テーマ例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・だんだん人が集まるように増やしてみよう ・伸び縮みさせてみよう ・始まりの感じをファンファーレにしてみよう ・切れた感じをスタッカートで表現してみよう ・リボンが結べたおめでとう！ <p style="text-align: center;">等</p> <p>4 「重なり方」「変化」について鑑賞での学習を振り返りながら、グループごとに工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後は全員がいいかな ・速度を変えてからまる感じにしてみたら？ ・のびたり縮んだりしてもおもしろいね。 ・「双頭…」のようにファンファーレで始めてみよう。 ・「アイネク…」みたいに短調にしたらどうかな ・おしゃべりみたいに二つのグループで交互にしてみよう。 ・低い音はなんだか暗い感じになるね。 <p>5 ペアグループで演奏を聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマについてどんな工夫をしたか発表してから演奏し工夫が活かされているかどうか聴き合う。 <p>6 次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終わりの歌「さようなら」を歌う。 	<p>○グループの演奏表を活用し、組み合わせを確かめながら練習させる。</p> <p>○様子を表現するためにどんな工夫をするか、つかませる。</p> <p>○「変化」について工夫する「音楽を形づくっている要素」を鑑賞の学習を想起させながら考えさせる。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、曲想を生かした表現を工夫し、どのように演奏するかについての自分の考えや願い、意図をもっている。</p> <p style="text-align: right;">〈態度観察・演奏聴取〉</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・強弱 ・音色 ・速さ ・調 ・問いと答え ・反復 ・音楽の縦と横の関係 <p>○工夫した部分が曲想の変化に活かされているか、演奏表や説明、実際の演奏を確認して聴き合うようにする。</p>